

兵庫県のに漁場環境情報 (東播海域 19号)

2026年4月1日発行
 兵庫のに研究所

海域全般に、小型珪藻のレプトシリンダラスがやや多く確認され、別府漁場以西ではスケルトネマも多く確認されます。窒素は、陸水の影響が見られる海域地先で概ね4~6 $\mu\text{g at/L}$ 台、その他の海域で概ね1 $\mu\text{g at/L}$ 台の値となっています。上げ潮~満潮での調査であったことから、前回よりも海域西部の沖筋ではやや上昇していますが、海域東部では大阪湾漁場の栄養塩低下の影響でやや低下しています。

(水温) 漁場内平均11.6 $^{\circ}\text{C}$ (平年比0.2 $^{\circ}\text{C}$ 低く、昨年比1.5 $^{\circ}\text{C}$ 高い)。(塩分) 平均32.78psu。前回(32.84)より0.06psu低い。

(珪藻、栄養塩)

別府漁場以西のスケルトネマ発生量は500~1,200細胞/mlであった。
 海域地先(魚住鋼管漁場~高砂漁場)では、陸水の影響が強くと見られ、アンモニア態窒素の値が高くなっていた。

| | 前回値 | 今回値 | 平年値 | 昨年値 |
|----|------|------|------|------|
| 水温 | 10.8 | 11.6 | 11.8 | 10.1 |
| 窒素 | 3.0 | 4.2 | 3.4 | 3.4 |
| リン | 0.28 | 0.30 | 0.29 | 0.37 |

(3/25)

(4/2)

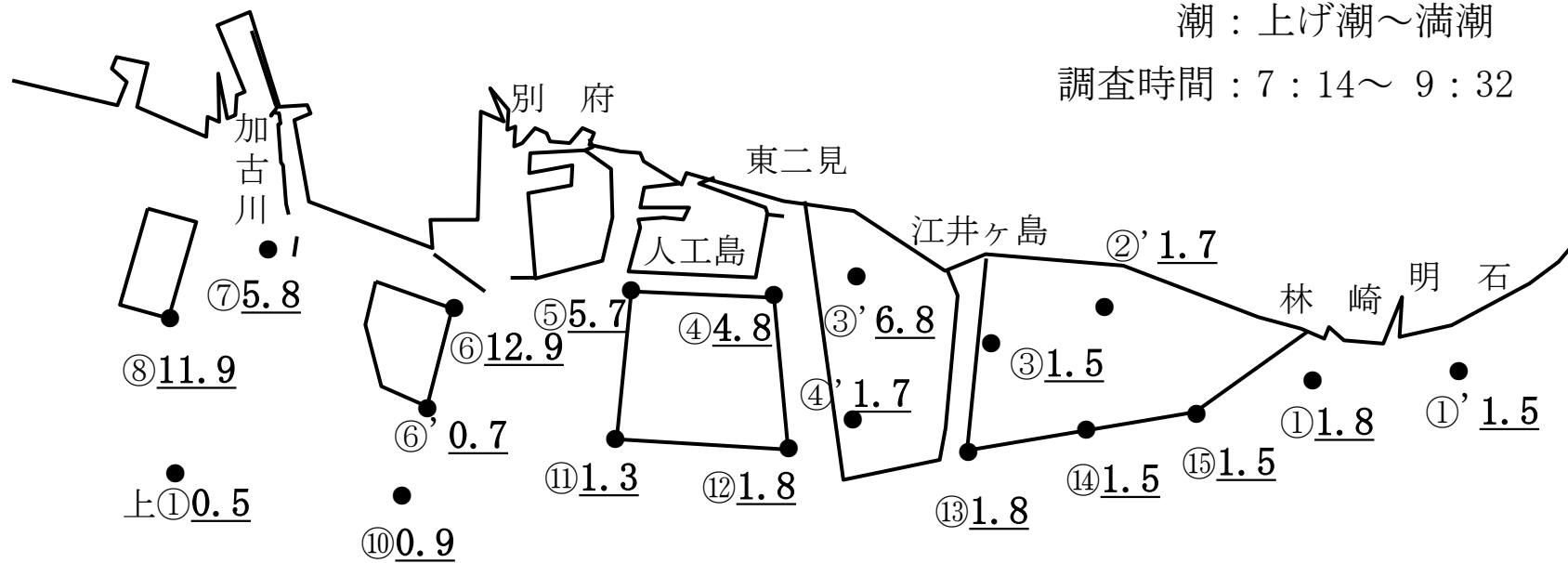
※窒素の平均は別府⑥を除く。

2026年4月1日調査

栄養塩(窒素) 図

潮：上げ潮~満潮

調査時間：7:14~9:32



水温図

